

CMA サービス（継続学習）の手引き（改訂）

本著作物の著作権は、公益社団法人 日本証券アナリスト協会に属します。本著作権の全部または一部を、許可なく印刷、複写、転載、磁気もしくは光記録媒体への入力等、その他方法の如何を問わず、これを複製することを禁じます。

照会先： 会員担当 E-mail : member@saa.or.jp Tel : 03-3666-1411



公益社団法人 日本証券アナリスト協会

2017 年 10 月発行

I. はじめに

<CMA にとっての継続学習の意義と協会の対応>

今般、皆さんの継続学習がより効率的に進められるように、従前策定した手引きを改訂し、協会が提供している継続学習に対するサポートに主眼をおき、分かり易く整理し紹介致します。

1. なぜ継続学習が重要か

CMA にあっては、現在の業務や役割がどのようなものであるかを問わず、実務家としての技能の向上や必要とされる知識の習得、維持は重要であり、継続学習は仕事における活躍の余地を広げ、顧客の信認の確保の上でも欠かせません。

- (1) CMA に必要とされる知識は、【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】、【コーポレート・ファイナンスと企業分析（財務分析を含む）】、【市場と経済の分析】、【倫理・規制関連】はもとより、業界動向や工場見学、新商品の知識等に至るまで幅広い分野に亘っています。さらに、プライベートバンカー（PB）関連のノウハウを必要とするケースもあります。
- (2) 証券アナリスト試験の合格、資格取得のための実務経験 3 年は、証券アナリストとしての知識・経験を最低限満たしていることを確認したに過ぎません。いわば必要条件であって十分条件ではありません。
- (3) 金融のプロたる CMA に求められるものは各面で多種多様、かつ状況変化の激しい中にあるには最新・正確しかも専門的な知見・見識・洞察力です。
- (4) こうした点は、代表的なものとしてはリサーチアナリストのあり方をみれば自明ですし、さらに CMA がその置かれた立場によって、ポートフォリオ（ファンド）マネージャー、ストラテジスト、クオンツアナリスト、クレジットアナリスト等々、さまざまな呼び方をされていることにも象徴的に表れています。

2. 協会はどんな対応をしているか

協会は、『証券アナリストジャーナル』の誌面内容の充実、各種セミナーや講演会の拡充、要旨録や動画の配信、スクーリングの実施、マイページの改善などを通じて、継続学習に対するサポート充実に努めております。

- (1) CMA が職務上求められる専門的な知見・見識・洞察力を習得、維持を効率的に進めるために、通信教育教材、『証券アナリストジャーナル』、講演会・セミナー、スクーリング（含む動画配信）、国際資格の国際公認投資アナリスト（CIIA）ほか、活躍分野を広げるプライベートバンカー（PB）も用意しています。
- (2) 上記の協会が用意したメニューに留まらず、職務上の関連性、適切性、有益性に資すると思われるもの全てに対して 1 年間の学習履歴を自主的に管理し可視化する仕組みを、マイページ（【継続学習】➡【クレジット登録】（学習所要時間などに応じて登録））に用意しています。

II. 協会が CMA に提供するサービス（継続学習）

1. 目的と枠組み

CMA としての技能向上や習得するべき知識、ノウハウ、情報は多種多様であり、しかもこれらは時々刻々変化しています。

こうした環境のもとで、協会は、マイページに登録した CMA に対して、資格取得後も実務家としての技能の向上や必要とされる知識の習得・維持に繋げるため、学習分野毎に効率的にサポートし、顧客の信認の確保にも貢献したいと考えております。

サポートの枠組みは、以下第 1 表のとおりです。また、参考までに、さまざまな学習分野を幅広く効率的に学習できるように、通信教育教材、講演会・セミナー、アナリスト大会、スクーリング、『証券アナリストジャーナル』、動画やセミナー要旨の配信など、学習メニューと学習分野との関係を体系的に表示したものが、3 ページ第 2 表です。

「継続学習」のサポートの枠組み

(第1表)

目的	実務家としての技能の向上や必要とされる知識の習得・維持に繋げるため、学習分野毎に効率的にサポートし、顧客の信認の確保に貢献する。
対象者	マイページを取得している会員（CMA）
メニュー	<u>I. 必要とされる専門的な知見・見識・洞察力を習得・維持</u> 【1 通信教育教材等】 ●職業行為基準実務ハンドブック、通信講座（1次・2次）テキスト 【2 講演会/セミナー】 ●各種講演会、定例セミナー、GIPSセミナー、企業会計勉強会 【3 アナリスト大会】 ●年1回、10月開催の日本証券アナリスト大会 【4 スクーリング】 ●証券分析のための数学入門、ポートフォリオ理論初級、デリバティブ初級 【5 『証券アナリストジャーナル』】 ●特集（投稿）論文、解題、展望、経済・産業・実務シリーズ、視点、研究ノート、読書室 【6 推奨・あっせん図書等】 ●推奨・あっせん図書及び投資、倫理・規制関連本 【7 その他】 ⇒以下例示 ●地域毎の勉強会、講演会を通じた継続学習機会 ●協会主催以外の倫理・規制関連及び投資にかかる講演会/セミナー講師 ●大学講義の講師としての派遣 ●公認会計士、税理士、FP等その他資格取得 ●ジャーナル誌以外の投資、倫理・規制関連の本執筆及び専門誌への論文執筆 <u>II. 推奨する資格</u> 【1 CIIA（国際資格）】 ●資格試験受験の教材閱讀等、スクーリングDVD 【2 PB（新たな活動分野）】 ●資格試験受験の教材等、セミナー、スクーリング
実績管理	注：学習分野の項目詳細及びメニューとの対応内容は3頁（第2表）参照のこと。 ●1年間の学習実績を学習所要時間などに応じて登録、可視化する仕組みを用意しました。 ●登録/照会/変更は、マイページの【継続学習】⇒【クレジット登録】より行います。 一定以上の学習実績に対しては、特定のセミナーの割引といった優遇措置があります。

メニュー項目 学習の分野	必要とされる専門的な知見・見識・洞察力を習得・維持							推奨する資格	
	通信教育教材等	講演会・ セミナー _動画等含む	アナリスト大会	スクーリング 【再学習】	ジャーナル 閲読、寄稿 執筆、投稿	推奨・斡旋 図書等	その他（注4）	CIIA 【国際資格】	PB 【新たな 活動分野】
								教材/セミナー /スクーリング	
倫理・規制関連									
職業倫理・行為基準	●(注1)	●							●
法令・規則等	●(注1)	●			●	●	●		●
コーポレート・ガバナンス	●(注2)	●	●		●	●	●	●	●
証券分析とポートフォリオ・マネジメント									
計量分析と統計学	●(注3)			●	●	●			
株式投資戦略	●(注3)	●		●	●	●	●	●	
債券投資戦略	●(注3)	●		●	●	●	●	●	
デリバティブと投資戦略	●(注3)	●		●	●	●	●	●	
投資政策	●(注3)	●		●	●	●	●	●	
アセットアロケーション	●(注3)	●		●	●	●	●	●	
オルタナティブ投資	●(注3)	●			●	●	●	●	
国際証券投資	●(注3)	●			●	●	●	●	
投資パフォーマンスの測定、評価 _GIPS基準を含む	●(注3)	●			●	●	●	●	
信用リスクモデル _信用リスク・デリバティブを含む	●(注3)	●			●	●	●	●	
行動ファイナンス（新たな理論）	●(注3)	●	●	●	●	●	●	●	
コーポレート・ファイナンスと企業分析									
コーポレート・ファイナンス _企業価値・株式価値のほか、M&A、信用 リスク分析など実践的諸問題を含む	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
財務会計 _税効果、企業再編、IFRS等含む	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
企業分析 _業績予測、リサーチレポート事例、業界 動向などの実証分析を含む	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
市場と経済の分析									
ミクロ経済学・マクロ経済学 _国際マクロ経済学を含む	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
証券・金融市場 _金融政策を含む	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
経済動向予測、金利予測	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
経済・金融の諸問題	●(注3)	●	●		●	●	●	●	
RM/WM（注5/不動産/税金/ 信託・エステートプランニング/マス富裕層									●

注1：改訂の都度、「職業行為基準実務ハンドブック」個別配付又はマイページ【倫理・規制関連】⇒【ハンドブック/オーディオ教材】

注2：CMA第2次レベル教材（コーポレート・ガバナンス）は、マイページ【倫理・規制関連】⇒【コーポレート・ガバナンス（PDF）】

注3：通信講座テキスト（マイページ【教材・図書】⇒購入）

注4：（例示） 地区交流会、大学寄附講座講師、セミナー及び講演会講師、CMA業務に資する他の資格取得（公認会計士、税理士、FP）、その他専門誌への論文執筆等

注5：RMとはリレーションシップ・マネジメント（顧客との信頼関係を構築するためのノウハウ）、WMとはウェルスマネジメント（企業・市場分析、資産運用・管理、資産・事業承継）

2. 具体的な継続学習メニューと学習方法

以下マイページのメニュー画面（青字ボックス番号は学習方法の解説番号と一致）に沿って学習方法を紹介します。

[アクセス](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#) | [English](#) |

 **日本証券アナリスト協会**
The Securities Analysts Association of Japan

[証券アナリスト資格](#) | [プライベートバンカー資格](#) | [専門性を高める](#) | [金融・資本市場への情報発信](#)

[トップ](#) > [マイページトップ](#)

マイページへようこそ

証券 太郎様
マイページ
PB受験申込・PB専用ページ
法人会員・法人賛助会員
役職員専用ページ
ログアウト

ログイン日時 2017年xx月xx日
(xx:xx:xx)
各種情報の確認・手続き

- ◆ [基本情報変更](#)
- ◆ [同意情報変更](#)
- ◆ [会員情報変更](#)
検定会員補情報変更
- ◆ [パスワードの変更](#)
- ◆ [申込履歴、入金状況の確認](#)
- ◆ [購入動画一覧](#)

前回のログイン日時 2017年xx月xx日
(xx:xx:xx)
会員・会員補向けのお知らせ

- ◆ 2017年 7月 19日2017年6月9日開催講演会「トランプ政権に対する日本の通商・農業政策」(講師：山下 一仁氏)の要旨・講演資料を掲載しました。会員の方は、無料でご覧になれます。また、よりアクセスしや

継続学習

継続学習制度 3.

[クレジットの登録](#) | [過去の登録状況の確認](#) | [継続学習制度について](#)

倫理・規制関連 2. (1)①②

[職業行為基準実務ハンドブック](#) | [オーディオ教材](#) | [コーポレート・ガバナンス](#)

推奨資格(1)①②

CIIA®（国際公認投資アナリスト）試験登録・受験

[参加登録申込](#) | [受験申込](#) | [受験地の変更](#)

[試験結果の確認](#) | [CIIAスクーリング申込](#) | [試験問題・優良解答](#)

[学習教材に関するお知らせ](#)

講演会・セミナー

[2. \(2\) ①②](#)[2. \(3\)](#)[セミナー・講演会申
込](#)[セミナー・講演会要
旨閲覧](#)

スクーリング

※証券分析のための数学入門講座、ポートフォリオ理論初級講座、デリバティブ
初級講座

[スクーリング](#)[2. \(4\) ①②③](#)

証券アナリストジャーナル

[2. \(5\)](#)[論文ダウンロード
\(無料\)](#)

動画

[動画申込](#)[購入動画一覧](#)

教材・図書

[商品一覧・申込](#)[2. \(1\)③](#)[2. \(4\) ④](#)[2. \(6\) ①②](#)

PB受験

[PB受験申込・PB専
用ページ](#)[推奨資格\(2\)①②](#)

職業倫理・行為基準を倫理・規制関連に変更するとともに、コーポレート・ガバナンス教材を PDF で提供するため、コーポレート・ガバナンスのボタン追加

●必要とされる専門的な知見・見識・洞察力を習得・維持

(1) 通信教育教材等

CMA は以下の方法で必要な学習分野を学べます。

① 『証券アナリスト職業行為基準実務ハンドブック』

・「証券アナリスト職業行為基準」を遵守していくうえで、CMA が日常業務を遂行する際に遭遇、判断を迫られたりするような「事例」を設定し、その場合の行動指針を解説しています。また、日常業務を遂行するうえで比較的關係が深いと思われる金融商品取引法などの法令等を引用し、必要な説明を付しています。

・改訂の都度、配付される『職業行為基準実務ハンドブック』を閲読するか、又はマイページ（【倫理・規制関連】⇒【職業行為基準実務ハンドブック（PDF）】/【オーディオ教材（第 2 次補講教材）】（無償））を閲読・視聴して学べます。

② 『コーポレート・ガバナンス』証券アナリスト第 2 次レベル通信教育教材

・近年、世界的に見ても、また、我が国でも、コーポレート・ガバナンスへの関心が高まっています。証券アナリスト第 2 次レベル通信教育教材のうち、コーポレート・ガバナンスに関するテキストは、理論から実務的な問題まで、欧州や米国との比較を含めて、投資業務に携わる実務家に必要と思われる内容を説明しています。

・マイページ（【倫理・規制関連】⇒【コーポレート・ガバナンス】（無償））を閲読して学べます。

③ 証券アナリスト通信教育講座テキスト

・CMA には欠かせない通信教育講座の知識【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】、【コーポレート・ファイナンスと企業分析】、【市場と経済の分析】が集大成されています。

・マイページ（【教材・図書（商品一覧・申込）】⇒【1 次又は 2 次レベル用教材】（有償））から必要な学習分野を選択、閲読して学べます。

(2) 講演会・セミナー

多種多様、かなりの頻度で講演会・セミナーが開催されており、また後日、動画配信（一部有償）、要旨閲覧（一部有償）もされており、必要な学習分野を絞って学べます。

講演会・セミナーへの参加手続きは、協会案内メール（【指定 URL】⇒【案内概要（申込クリック）】⇒【受付手続き】）、又は、マイページ（セミナー・講演会申込】⇒【受付手続き】）から確認できます。開催済の講演会・のセミナーの要旨・資料や動画は、協会案内メール（【指定 URL】⇒【要旨・同資料閲覧又は動画視聴】）又は、マイページ（【セミナー・講演要旨閲覧】⇒【条件絞込み】⇒【要旨・同資料閲覧又は動画視聴】）から必要な学習分野を選択することができます。

① 各種講演会（年間 80 回）

・幅広いジャンルのテーマを取り上げ頻繁に開催しています。所要時間は 90 分～120 分、1 回の参加料は通常 1,000 円（一部 3,100 円）です。

・学習分野は第 2 表のとおり多岐にわたり、この中には、【ケーススタディ（企業価値評価やアセットア

ロケーションなど)】、【産業研究会講演会（産業動向、技術動向をテーマに年数回）】、【企業会計関連勉強会（国際会計基準など年数回）】、【特別セミナー（特に時宜に即したテーマ）】が含まれています。

- ・このほかに、マイページ（【セミナー・講演会申込】⇒【他団体の講演会等】⇒【絞込み】⇒【他団体講演会申込】）で、他団体主催講演会（例えば、会計教育研修機構・日本公認会計士協会・財務会計基準機構・日本コーポレート・ガバナンス・ネットワークなど）の学習情報も提供しています。

② 定例セミナー

No.	セミナー名	学習分野
1	SAAJ 国際セミナー	【資産運用全般】
2	SAAJ セミナー	【株式投資戦略関連】
3	夏期 SAAJ セミナー	【債券投資戦略関連】
4	SAAJ-日本ファイナンス学会共同セミナー	【ファイナンス理論】
5	GIPS セミナー	【投資パフォーマンス基準】

(3) 日本証券アナリスト大会

企業経営者、学者、実務家などによる講演や討論会などで構成され、例年は10月に開催しています。CMAの参加手続きは、協会案内メール（【指定 URL】⇒【案内概要（申込クリック）】⇒【受付手続き】）、又は、マイページ（【セミナー・講演会申込】⇒【受付手続き】）からできます。

(4) スクーリング

スクーリングは、通信教育講座の受講者向けですが、知識の再整理・再学習を考えているCMAに役立つものもあります。参加は、マイページ（【スクーリング】⇒【受付手続き】）からできます。なお、スクーリングは有償です。また、証券分析のための数学入門講座の予備編は、マイページ（【動画申込】⇒【条件絞込み】⇒【動画視聴】）で購入後に動画視聴が可能です。

① 証券分析のための数学

- ・証券分析に必要な数学の基礎知識を再確認する機会になります。なお、数学の基礎知識に不安のある受講者向けに、予備編の動画も提供しています。

② ポートフォリオ理論初級講座

- ・現代ポートフォリオ理論の知識の再整理・再学習の機会になります。

③ デリバティブ初級講座

- ・デリバティブについて体系的に再整理する機会になります。

(5) 『証券アナリストジャーナル』

協会の機関誌であり、CMAに毎月1冊配付しています。ほとんどすべての学習分野をカバーしており、学界での評価も高く、いわば実務界と学界の接点に位置しています。マイページ（【証券アナリストジャーナル】⇒【論文ダウンロード】⇒【条件絞込み】（無償）で論文（特集論文、投稿論文、経済・産業・実務シリーズ

論文、解題、研究ノート、展望など)) からダウンロードでき、必要な学習分野を学べます。

(6) 推奨・あっせん図書等

① 推奨図書

- ・通信教育講座で学ぶ知識をさらに掘り下げ、知識の再整理・再学習の機会を CMA 向けに提供するものとして協会が特に推奨している図書で、市販価格の概ね 2 割引で購入できます。
- ・現在、【証券投資論：2 冊】、【企業分析】、【財務会計】、【統計】、【用語辞典】【数学入門】の 7 冊を取り扱っています。
- ・マイページ（【教材・図書】⇒【商品一覧・申込】⇒【推奨図書一覧】⇒【選択購入注文】（有償））で該当する学習分野を閲覧できます。

② あっせん図書

- ・CMA 向けに有益な書籍を協会が割引価格であっせんするものです。
- ・マイページ（【教材・図書】⇒【商品一覧・申込】⇒【あっせん図書一覧】⇒【選択購入注文】（有償））で該当する学習分野を閲覧できます。

(7) その他

上記(1)～(6)の学習メニュー以外に、次のような活動も継続学習としています。

【事例】

- ① セミナー・講演会での講師（投資、倫理・規制関連、協会主催以外のものも対象）
- ② 協会の派遣講師（投資、倫理・規制関連、協会主催以外のものも対象）
- ③ 公認会計士、税理士、FP などの証券アナリスト業務に資する他の資格の取得
- ④ 投資、倫理・規制関連の本の閲読、執筆
- ⑤ 証券アナリストジャーナル以外の投資、倫理・規制関連の専門誌への論文執筆
- ⑥ 地区交流会への参加、活動

●推奨する資格

(1) CIIA【国際資格】

① CIIA の試験教材等

- ・アジア、ヨーロッパ、南米、アフリカにまたがる各国の証券アナリスト協会とアジア及びヨーロッパの証券アナリスト協会連合会で構成される国際公認投資アナリスト協会（ACIIA）が運営・推進している資格で国際的に活躍できる証券アナリストの育成を目的としています。
- ・試験制度への登録及び受験申込は、マイページ（【CIIA®（国際公認投資アナリスト）試験登録・受験】⇒【参加登録申込/受験申込】）から手続きができます。
- ・参加登録時に最新の教材が配付され、【コーポレート・ファイナンス】、【経済】、【財務分析】、【株式分析】、【債券分析】、【デリバティブ分析】、【ポートフォリオ・マネジメント】の高度な知識と総合的な分析力、応用力を学べます。

② CIIA スクーリング DVD

- ・CIIA 受験者を念頭に、証券アナリスト通信教育講座第 2 次レベルの復習及び過去の受験者の弱点を踏まえた講義、過去問の解説、練習問題の演習等を行います。マイページより【教材・図書（商品一覧・申込）】⇒【スクーリング DVD】（有償）から購入でき、視聴により受験対策講義を学べます。

(2) PB【新たな活動分野】

① PB テキスト等

- ・主に企業オーナーや個人事業主を顧客対象に、ファミリーの資産保全・事業承継・相続を支援するために、包括的な金融サービスを提案、実行支援するもので、CMA にとって新たな活躍分野の開拓に繋がる資格です。
- ・資格は、PB コーディネーター、プライマリーPB、シニア PB の 3 つです。
- ・受験申込は、マイページ（【PB 受験申込・PB 専用ページ】⇒【資格毎の受験申込】）から手続きができます。
- ・受験教材は、マイページ（【PB 受験申込・PB 専用ページ】⇒【受験用教材】（有償））から【リレーションシップ・マネジメント（顧客との信頼関係構築のノウハウ）】、【ウエルスマネジメント（企業・市場分析、資産運用・管理、相続・事業承継）】、【不動産】、【税金】、【信託・エスレートプランニング】、【マス富裕層向けサービス】、【職業倫理】が学べるテキストの購入手続きができます。
- ・CMA には一部試験免除や受験料割引など優遇措置があります。

② セミナー

- ・PB 関連セミナーの動画は、マイページ（【PB 受験申込・PB 専用ページ】⇒【動画申込】⇒【条件絞込み】⇒【動画申込・視聴】（有償））から必要な学習分野を学べます。
- ・セミナーは、プライマリーPB 及びシニア PB 向けに【事業承継や相続対策の事例】と【基礎知識体系（PBCKB）7 科目及び倫理・規制関連】の 2 種類があります。

③ PB スクーリング

- ・PB 資格保有者が各段階で一つ上のスキル、資格を取得できるよう、倫理・規制関連の講義を含む実践的レベルアップの機会を提供します。初級者向けと中級者向けの 2 コースがあります。
- ・スクーリングへの参加手続きは、協会案内メール（【指定 URL】⇒【案内概要（申込クリック）】⇒【受付手続き】）、又は、マイページ（【PB 受験申込・PB 専用ページ】⇒【PB スクール受付手続き】）からでき、開催済のスクールの動画は、マイページ（【PB 受験申込・PB 専用ページ】⇒【動画申込】⇒【条件絞込み】⇒【動画申込・視聴】（有償））で必要な学習分野を学べます。

3. 学習実績管理について

CMA 自身の 1 年間の学習実績は、マイページ（【継続学習】⇒【クレジット登録】（学習所要時間などに応じて登録））で管理できます。なお、クレジット算定方法は 10 ページ第 3 表をご参照下さい。

No.	学習分野	メニュー項目	学習手段	クレジット算定方法
				(特段記載ない限り、1クレジットは概ね30分の学習活動)
1	倫理・規制関連	通信教育教材	職業行為基準実務ハンドブック	ハンドブックの閲読及びオーディオ教材視聴により算定
			コーポレート・ガバナンス（第2次レベル）	閲読学習時間により算定
		講演会・セミナー	倫理・規制に関する社内研修への参加	参加時間により算定
			倫理・規制に関する講演録、動画	閲読・視聴時間により算定
		その他	専門誌への倫理・規制関連の論文執筆	執筆時間と準備時間の合計により算定 （上限は120クレジットが目安）
2	証券分析・ポートフォリオマネジメント/コーポレート・ファイナンスと企業分析/市場と経済の分析	通信教育教材	通信教育講座テキスト	閲読学習時間により算定
			講演会参加（産業研究会の講演会を含む）	参加時間により算定
		講演会・セミナー	要旨の閲読、動画	閲読・視聴時間により算定
			企業会計勉強会	参加時間により算定
			特別セミナー	参加時間により算定 （30分を1.5クレジットとして算定）
			SAAJ国際セミナー	参加時間により算定 （30分を2クレジットとして算定）
			SAAJセミナー	
			夏期SAAJセミナー	
			SAAJ-日本ファイナンス学会共同セミナー	
			GIPSセミナー	講義時間と準備時間の合計により算定
			講演会・セミナー講師	
		アナリスト大会	アナリスト大会	参加時間により算定
			アナリスト大会の講師、パネリスト	講義時間と準備時間の合計により算定
		スクーリング	証券分析のための数学入門教室	参加時間により算定
			ポートフォリオ理論初級講座	
			デリバティブ初級講座	
		ジャーナル誌	論文の閲読	10頁（標準的な論文）毎に1クレジット （1冊分のクレジットの上限は8クレジットが目安）
			寄稿・執筆	執筆時間と準備時間の合計により算定 （上限は120クレジットが目安）
			投稿論文	
		推奨・あっせん図書	投資関連図書の閲読	閲読時間により算定
		その他	地区交流会	参加時間（懇親会は除く）により算定 （30分を1.5クレジットとして算定）
			協会主催以外のセミナー等講師	講義時間と準備時間の合計により算定
			大学講義の講師として派遣	
			他の資格取得 （公認会計士、税理士、FP等、 投資・証券に資する資格）	所要時間により算定
			専門誌への投資の論文執筆	執筆時間と準備時間の合計により算定 （上限は120クレジットが目安）
			投資の本執筆	執筆時間と準備時間の合計により算定 （共著の場合は自己執筆の部分とする。上限は120クレジットが目安）
3	CIIA試験領域	教材	試験登録	登録時点で60クレジット付与
			試験受験・合格	受験時点で30クレジット付与。 更に、第1単位、2単位を合格した場合は各60クレジット付与
		スクーリング	スクーリングへの参加、DVD視聴	参加・視聴時間により算定 （30分を2クレジットとして算定）
			講師	講義時間と準備時間の合計により算定
4	PB試験領域	教材	試験受験	各試験・単位毎に10クレジット付与。
			資格取得	PBコーディネーター 30クレジット、プライマリーPB 60クレジット、 シニアPB 120クレジット付与。
		セミナー	PBセミナー	参加時間により算定 （30分を2クレジットとして算定）
			PB補完セミナー	参加時間により算定
			各セミナーの要旨	閲読時間により算定
			講師	講義時間と準備時間の合計により算定
		スクーリング	PBスクール	参加時間により算定